

第7章

未来（あす）を見つめたまちづくり

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)											
				会計	投入コスト		活動実績(R4)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目											
711	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 826千円 538千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 855千円 730千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.73人 0人 5,825千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.67人 0人 5,361千円	項目名 講演会等参加者数	指標名 人権尊重に関する施策への満足度 市民意識調査の設問「所沢市の施策への満足度」に対し、「満足」「まあまあ満足」と回答した人の割合)	目標設定の考え方・根拠		B	引き続き、効果的な啓発が図れるよう取り組んでいく	R4年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう												
		重要	自治事務				826千円	538千円			人権推進室では、人権全般の啓発を総合的に推進しており、施策への満足度を指標としている。	市主催の人権啓発研修会について、企業への通知時期を早めたことにより、企業からの参加者が増加した。	10 人や国の不平等をなくそう											
		人権啓発推進事業	根拠法令				R4予算現額	R4決算額(見込み)			実績	R3目標 R3実績 46.0% 46.7%	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標 R4実績 48.0% 41.7%	R4目標値が未達成の理由・分析	近年、SNS等に係るインターネットによる人権侵害などの比較的新しい人権問題が注目されており、こうした課題が一般にも認識されつつある状況から、目標達成に至らなかったものと考えられる。	16 平和と公正をすべての人に	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
			今後の同和行政の基本方針				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合										159人	R5目標 R5実績 50.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	R5目標 R5実績 50.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	差別や偏見のない人権尊重社会の実現を目指して、研修会や講演会等を通じて、人権意識の高揚を図るとともに、人権問題に対する正しい理解の普及に取り組む。	様々な人権課題についての学習機会を提供することを通じて、人権尊重に関する意識の高揚を図った。
			事業の目的及び具体的な内容				R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										0人						
			人権意識の向上を図ることにより、市民一人ひとりの人権を擁護し、差別のない地域社会を築くことを目的とし、人権に関する企業及び職員向けの研修会の実施、「人権フェスティバル」の開催(人間都市同和対策協議会)、人権啓発講演会の実施(人権啓発活動地方委託事業)、人権啓発DVDの貸し出し、人権啓発物品の作成・配布等、さまざまな啓発事業を行っている。				R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										0人						
		期間	H12 ~				0.67人	0人			5,361千円	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	評価者 企画総務課長 奥井 祥三								
		重要	自治事務				447千円	92千円			平和祈念式典参加人数	市の平和推進事業に理解いただけた人数の割合	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを理解してもらおうことが当該事業の目的となっているため。	1 貧困をなくそう										
		平和推進事業	根拠法令				R4予算現額	R4決算額(見込み)			実績	R3目標 R3実績 100.0% 100.0%	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標 R4実績 100.0% 100.0%	R4目標値が未達成の理由・分析	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを若い世代を中心に伝え、目標値を達成しているため。	A	特になし	2 飢餓をゼロに					
			-				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合										0人	R5目標 R5実績 100.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	R5目標 R5実績 100.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	被爆・戦争体験者の高齢化が進む中、語り部への身体的負担に配慮した事業展開をしていく。	16 平和と公正をすべての人に
事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0人																				
戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民に理解してもらうため、公募した学生と平和祈念式典に参加する「広島平和祈念式典参加事業」や、市内小中学校を対象とした被爆体験者による「平和を語る会」、市役所及びまちづくりセンターで原爆のパネル写真を展示する、「平和祈念資料展」を行う。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0人																				
期間	S60 ~	0.47人	0人	3,761千円	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	評価者 企画総務課長 奥井 祥三	どのように貢献したか	平和を守ることの重要性を伝える機会を通じ、参加者の意識を向上を図った。													
712	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 770千円 575千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 770千円 553千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.70人 0.25人 5,586千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.65人 0.25人 5,201千円	項目名 家庭教育学級人権教育合同講座受講者数 人権教育ブロック別研修会受講者数 人権教育指導者養成講座	指標名 講座・研修会参加者の理解度(%) 人権意識の向上に資するため、参加者アンケートの理解度を目標値とした。	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値は達成でき一定の成果は上げている。講座・研修会の周知方法や内容等さらに理解度を上げるため検討していきたい。	R4年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう												
		重要	自治事務				770千円	575千円			講座・研修会参加者の理解度(%)	人権意識の向上に資するため、参加者アンケートの理解度を目標値とした。	参加者数の制限、研修時間の短縮、休憩時間を入れ換気の時間を設ける等、コロナ禍での対策を講じ実施した。	10 人や国の不平等をなくそう										
		人権教育推進事業	根拠法令				R4予算現額	R4決算額(見込み)			実績	R3目標 R3実績 93.0% 93.5%	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標 R4実績 94.0% 96.2%	R4目標値が未達成の理由・分析	達成済み	16 平和と公正をすべての人に	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
			人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、社会教育法、所沢市人権教育推進協議会交付金交付要綱				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合										0.25人	R5目標 R5実績 97.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	R5目標 R5実績 97.0%	R5目標値が未達成の理由・分析	13の人権課題の中から、様々な人権問題について取り上げ、今後も人権教育講座・研修会を開催していく。	思いやりのある人権尊重社会の実現のため、講座・研修会を開催し、人権教育の推進を図った。
			事業の目的及び具体的な内容				R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										0.25人						
			差別や偏見のない地域社会づくりに寄与することを目的として、広く市民や社会教育関係団体、学校関係者に対する研修会の開催や啓発物の配布を通じて人権教育の推進する。				R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										0.25人						
		期間	H15 ~				0.65人	0.25人			5,201千円	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	評価者 社会教育担当 参事 糟谷 苗美								

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
712	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 100千円 125千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 100千円 195千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.22人 0人 1,756千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.32人 0人 2,561千円	項目名 開催回数 講習会受講生数 日本語学習支援ボランティア養成講座受講生数	指標名 講習会受講生の人数(人)	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	B 新型コロナウイルス感染症の影響もあり成果指標の目標値は下回っているが、市民団体との協働により30年以上実施している本事業は、日本語学習を通して市内在住外国人の生活支援をする場であるとともに、市内在住外国人との相互理解や交流を深める場としても重要な役割を果たしている。講習会を開催する団体も本市の国際交流に大きく貢献しており、国際理解に対して成果を上げている。他の日本語ボランティア団体も本市の国際交流に大きく貢献している。	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう		
		重要	自治事務				目標設定の考え方・根拠	多くの市内在住外国人に参加してもらいたいため、受講生の延べ人数を指標とする。						
		根拠法令	社会教育法				R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	日本在住の外国人が生活する上で必要不可欠な日本語の学習の場を保障し、市民の国際交流・異文化理解を推進する事を目的とし、毎週月曜日に日本語講習会を市民のボランティアにより実施している。 また、日本語講習会の指導・支援ボランティアの確保と育成のための養成講座を開催し、これから活動を志す入門編と、技術向上を目指す実践編の研修を実施している。				R3目標 R3実績	900 304						
		期間	H1 ~				R4目標 R4実績	900 434						
		実績	37回 434人 163人				R5目標	900						
		評価者	社会教育担当 参事 糟谷 苗美				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか						
		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	コロナ禍で減少していた受講生の人数も徐々に戻りつつあるが、人数増加に対応できるようにスタッフの人材を育成していく必要がある。				市内在住外国人が生活する上で必要不可欠な日本語を学ぶ場を提供した。							
		どのよう貢献したか												
		どのよう貢献したか												
713	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 0千円 0千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 0千円 0千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.16人 0人 1,277千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.11人 0人 880千円	項目名 情報提供回数 具体的に取り組んだ事業数(研修の開催等)	指標名 職員のユニバーサルデザインへの配慮度 職員アンケートでユニバーサルデザインに「配慮して業務に取り組んでいる」と答えた割合	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	B 目標達成に向けて、引き続き効果的な啓発が図れるよう取り組んでいく。	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう		
		重要	自治事務				目標設定の考え方・根拠	行政サービスを提供する市職員がユニバーサルデザインに配慮し、業務に取り組んでいるかを重要視しているため。						
		根拠法令	ユニバーサルデザイン推進基本方針				R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	誰もが参加しやすい、暮らしやすいまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザイン推進基本方針を周知するための情報提供、新規採用職員への研修等、ユニバーサルデザインを推進するための事業を行っている。				R3目標 R3実績	65.0% 52.5%						
		期間	H19 ~				R4目標 R4実績	70.0% 62.3%						
		実績	1回 (職員アンケート実施の際に実施) 1回				R5目標	75.0%						
		評価者	企画総務課長 奥井 祥三				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか						
		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	職員アンケートに併せて、ユニバーサルデザインに配慮する事例をより分かりやすく例示するなどの周知を行った。				目標達成に向けて、引き続き情報発信を行っていく。	ユニバーサルデザインの理念を市の各種施策に反映させるため、情報発信を通じて職員の意識高揚を図った。						
		どのよう貢献したか												
		どのよう貢献したか												
714	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 0千円 0千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 4,996千円 4,604千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 - 0人 - R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 1.88人 2人 15,044千円	項目名 相談実人数 相談件数 一時保護件数	指標名 DV庁内連携会議をはじめとする庁内会議・研修の開催回数	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	A DVの相談窓口が明確になったことで、必要とする方に情報が届きやすくなったほか、関係機関との連携しやすくなり、市のDV被害者支援が強化された。	R4年度に改善した点	5ジェンダー平等を実現しよう		
		重要	自治事務				目標設定の考え方・根拠	DV被害者支援には関係機関との連携が必要不可欠であることから、体制構築のための連携会議を行う必要がある。						
		根拠法令	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律				R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	重大な人権問題である、配偶者等からの暴力(DV)被害者に対して、DVによって命や生活の安全を脅かされる状況を解消し、社会の中で自立して生活していけるよう、必要な支援を行う。				R3目標 R3実績	- -						
		期間	R4 ~				R4目標 R4実績	年1回以上開催 年1回以上開催 R4.9.21(木)開催						
		実績	144人 548件 1件				R5目標	年1回以上開催						
		評価者	企画総務課長 奥井 祥三				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか						
		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	DVに関する相談内容が今後ますます複雑化・多様化することが見込まれる。このため、対応にあたる職員・相談員について引き続き資質の向上に努める。				目標達成済	困難な状況に置かれたDV被害者について、自立に向けた支援を行った。						
		どのよう貢献したか												
		どのよう貢献したか												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
714	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標達成に向け、より一層の啓発が必要である。	R4年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう	
		重要	自治事務	317千円	284千円	情報誌「SUN」の発行部数	審議会等の委員に占める女性の割合	政策・方針等の意思決定の場に男女が共に参画していることを測るため、市の審議会等の女性委員の割合を指標とする。				女性委員の登用について、庁内へ協力依頼を行い、周知・啓発を図った。		17 パートナリシップで目標を達成しよう
		根拠法令	男女共同参画社会基本法、所沢市男女共同参画推進条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)							317千円		303千円
		事業の目的及び具体的な内容	誰もが自分らしくのびやかに生きられる男女共同参画の実現に向けて、男女共同参画への関心を高め、性別による固定的役割分担意識の改善を図ることを目的とする。主な内容として、男女共同参画情報誌「SUN」(年2回発行 各5,000部 関係機関並びに公共施設・学校等に配布)を発行する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.68人	0人	R4目標	R4実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか
		期間	S56 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.68人	0人	R5目標				引き続き啓発を行うとともに、男女共同参画誌「SUN」などを活用し、事業者等への啓発に努める。		審議会等に女性を登用することにより女性の視点を政策に反映することができた。
				5,426千円		5,441千円		38.0%	28.5%					
				10,000部				38.0%						
714	男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	コロナ禍以前の令和元年度と比較し、利用件数は9割程度戻している状況となったが、目標値には届かなかった。	R4年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう	
		重要	自治事務	9,358千円	8,862千円	会議室等の使用者数 複写機・印刷使用者数 図書・ビデオ利用者数	会議室等の稼働率(会議室・研修室・生活工房の月別稼働率の平均)	ふらっとの事業目的の一部である男女共同参画に係る「学習」や「交流」の場を提供することの成果を測るため、会議室等の稼働率を指標とする。				男女共同参画への理解と意識の向上のため、さらにふらっとの知名度向上のために、新たな取組として、子育てフォトコンテストを実施した。		どのように貢献したか
		根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)							9,963千円		9,700千円
		事業の目的及び具体的な内容	男女共同参画に係る「学習」、「相談」、「交流」、「情報」の場を提供するとともに、できるだけ多くの方に男女共同参画への理解と意識の向上を図ることを目的とし、施設(会議室・研修室・生活工房)、印刷機、男女共同参画に関する図書・DVDの貸出を行う。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.70人	0.6	R4目標	R4実績			コロナ禍で活動を休止していた団体だけでなく、新規団体にも利用していただけるよう、引き続き周知・PRに努める。		男女共同参画に係るキャンペーンイベントの実施、「学習」や「交流」の場の提供などによりふらっとの施設活用の向上に努めた。
		期間	H7 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.62人	0.8	R5目標				評価者		企画総務課長 奥井 祥三
				5,586千円		4,961千円		45.0%						
				15,351人 147 213				45.0%						
714	男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	カウンセリング、何でも聞きます相談、電話相談のすべてが増加した。特に、何でも聞きます相談の件数が大幅に増加した。コロナ禍もひと段落している状況のため、対面相談を希望する人が増えてきている。	R4年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう	
		重要	自治事務	3,785千円	3,627千円	電話相談件数 カウンセリング相談件数 何でも聞きます相談件数	年間相談件数	悩んでいる人への対応件数を相談事業の成果と捉え、相談件数を指標とする。				配偶者暴力相談支援センターとの合同研修を実施した。		どのように貢献したか
		根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	R4予算現額	R4決算額(見込み)							3,914千円		3,737千円
		事業の目的及び具体的な内容	電話相談、カウンセリング、何でも聞きます相談の実施。男女共同参画社会の実現のために、その障害となる悩みや問題を解決するための援助事業を行う。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.31人	0.6	R4目標	R4実績			市の配偶者暴力相談支援センターをはじめ、市民相談課、こども相談センター、こころの健康支援室などの相談所管部署及び関係部署、関係機関と連携しながら、相談対応を行い、悩みを抱える人の支援を行った。		
		期間	H7 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.35人	0.6	R5目標				評価者		企画総務課長 奥井 祥三
				2,474千円		2,801千円		718件 174件 107件						
				750件 750件 750件				910件 999件						

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
714	男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	申し込み数の多さや、アンケート等で参加者からの関心が高い講座を開催し、目標を達成できた。今後も全世代が参加でき、男女共同参画の推進やふらっとの周知に寄与する魅力ある講座を、利用者の意見なども参考にして開催していく。	R4年度に改善した点	5 ジェンダー平等を実現しよう				
		重要	自治事務		372千円	194千円			講座参加者数	講座定員数における参加者数の割合			男女共同参画に関する理解や意識向上を図ることを目的に講座を開催するため、参加率を指標とする。		R4年度に改善した点			
		ふらっと企画講座実施事業	根拠法令		R4予算現額	R4決算額(見込み)	実績	講座参加者数							R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	困難を抱えた女性への支援の取組みとして、「ひきこもり女子会リーチ！withふらっと」を新たに実施した。
			所沢市男女共同参画推進条例		372千円	227千円			R4目標	R4実績			R4目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合												90.0%
		多くの市民等に向けて男女共同参画への理解と意識の向上を図るため、男女共同参画に係る講座・研修・講演会などの開催を行う。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	90.0%	97.6%	講座の開催日や開催時間を工夫する。講座の良さがうまく伝わらずに参加者が少なかった講座があるため、周知方法を引き続き検討していく。										
		期間	0.57人		0.8	R5目標	R5実績	目標達成済	評価者	企画総務課長 奥井 祥三			男女共同参画に係る様々な講座やイベント等を行うことにより、市民に対する意識啓発を行った。					
H7 ~	4,549千円	0.6	90.0%															
	4,561千円																	
721	秘書室	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値には達していないものの、コロナ禍で感染対策を行いながら式典を挙行了した。地域づくり推進課所管の感謝状贈呈式と同時開催したことにより、厳粛な中にも華やかさを保つことができた。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も				
		重要	自治事務		1,295千円	1,132千円			被表彰者数	表彰式出席率(表彰式出席者数÷被表彰者数×100)			感謝の意を表す行事であるため、多くの方の出席が望ましい。		R4年度に改善した点			
		所沢市表彰事業	根拠法令		R4予算現額	R4決算額(見込み)	実績	表彰式出席者数							R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	被表彰者へのアンケートに基づき、例年日曜午後に実施していたが、昨年度は試験的に午前中に実施した。コロナ禍でも全員に賞状授与ができるよう、座席間隔を1.5倍に広げたり受付を増やしたりすることで、会場での感染症対策に努めた。
			所沢市表彰規則		1,164千円	1,046千円			R4目標	R4実績			R4目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合												75.0%
		政治、経済、福祉、文化、スポーツ等、様々な分野で市勢の振興に寄与する市民活動を促進するため、活動の顕著であった方々を表彰する。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	75.0%	58.0%	仕事等により欠席する被表彰者(主に消防団員・学校医等)が一定数いることや、令和4年度もコロナ禍での開催となったことから、出席を見送った方がいるものと考えられる。										
		期間	0.47人		0人	R5目標	R5実績	目標達成済	評価者	秘書担当参事兼秘書室長 皆川 博幸			政策会議等で協力を要請し、スムーズな進行に努め、出席者に負担をかけることなく喜んでいただける式典にしていく。Afterコロナに即した式典等のあり方を検討し、実施方法等を必要に応じて改善する。					
S45 ~	3,751千円	0人	75.0%															
	0.50人	0人																
	4,001千円																	
721	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	自治基本用例会推進委員会を開催し、市民参加や情報の公開・共有の状況を踏まえ、条例のさらなる推進に向けた検討を進めた。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
		重要	自治事務		360千円	130千円			自治基本条例推進委員会の開催回数	自治基本条例の推進(条例の運用状況の調査・検討の実施)			自治基本条例推進委員会の開催により、条例の運用状況の調査・検討を進め、条例の実効性が確保されているか。		R4年度に改善した点			
		所沢市自治基本条例推進事業	根拠法令		R4予算現額	R4決算額(見込み)	実績	自治基本条例の推進(条例の運用状況の調査・検討の実施)							R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	所沢市自治基本条例の一部改正を行ったほか、パブリックコメント手続実施要綱の一部改正を行った。
			所沢市自治基本条例、市民参加を進めるための条例		404千円	325千円			R4目標	R4実績			R4目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合												推進
		市民等・市議会・市が課題を共有し、連携・協力しながら市民自治によるまちづくりを推進していくことを目的とする。具体的な取り組み内容としては、所沢市自治基本条例推進委員会を設置し、条例の適切な運用を図り、市民参加や情報公開の在り方について検討を行う。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	推進	推進	目標達成済										
		期間	0.17人		0人	R5目標	R5実績	目標達成済	評価者	経営企画課長 小池 純一			全庁的な取組が必要となるため、その方策等を検討していく。					
H18 ~	1,357千円	0人	推進	推進														
	0.35人	0人																
	2,801千円																	

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由		現状の課題							
721	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを										
		重要	自治事務									19,011千円	18,425千円	1日当たりの相談件数	年間相談件数	市民からの相談の状況を把握するため、各種相談による年間相談件数を指標とする。	目標は未達成であったが、市民相談の令和4年度の相談件数はコロナ禍の始まった令和2年度以降では一番多く、電話相談に加えて、一般相談のワンストップサービスを導入したことにより、市民相談の利便性をさらに向上させることができている。				
		根拠法令	所沢市市民相談員設置要綱・所沢市市民相談実施要領									R4予算現額	R4決算額(見込み)					1件当たりのコスト(会計年度職員報酬+職員手当等+相談報償)	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		事業の目的及び具体的な内容	生活し生じる様々な問題について市民からの相談に対し適切な助言等を行い、自主的な解決を促進して住民の福祉向上に寄与することを目的とする。電話及び面接方式による相談を以下(～)のとおり実施している。なお、の専門相談については、予約制としている。一般相談 弁護士相談 税理士相談 司法書士相談 行政書士相談 人権相談 行政相談 外国人生活相談									R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	弁護士一人当たりの休日特設相談件数	R4目標			R4実績	新型コロナウイルス感染症の流行が継続していたため、電話による相談のみで行っていたが、ワクチン接種率の上昇と共に行動制限の緩和があり、市民の活動範囲が少しずつ広がったことにより、相談件数は前年度を上回っていた。しかしながら、国の旅行支援などが行われた期間には相談が減る傾向が見られたほか、流行波の期間などには相談件数が減る傾向があり、市民の相談の関心が一時的に下がったものとする。		
		期間	S47 ~									1.98人	3人	実績	4,000件			2,750件	評価者	市民相談課長 守谷 秀明	市民の生活上の悩みごとや困りごとについて相談を受け、助言等を行った。
												15,800千円	3人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合			12.3件	6330.2円	R4目標値が未達成の理由・分析	市民相談のワンストップサービスとして一般相談専用ダイヤルを設置したことにより、相談者の利便性が上がり、一般相談の利用者が増加しつつある。相談員に対する相談者の解決への期待は大きく、特に日々相談を受ける一般相談員については、法や制度の改正などの知識をいち早く取得できるよう、研修受講の機会や資料等の活用などを充実させていく。
												1.97人	3人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合			3.75件	3,025件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	市民相談のワンストップサービスとして一般相談専用ダイヤルを設置したことにより、相談者の利便性が上がり、一般相談の利用者が増加しつつある。相談員に対する相談者の解決への期待は大きく、特に日々相談を受ける一般相談員については、法や制度の改正などの知識をいち早く取得できるよう、研修受講の機会や資料等の活用などを充実させていく。
		15,764千円	3人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	3.75件	3,025件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	市民相談のワンストップサービスとして一般相談専用ダイヤルを設置したことにより、相談者の利便性が上がり、一般相談の利用者が増加しつつある。相談員に対する相談者の解決への期待は大きく、特に日々相談を受ける一般相談員については、法や制度の改正などの知識をいち早く取得できるよう、研修受講の機会や資料等の活用などを充実させていく。												
721	選挙管理委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう										
		優先	自治事務									1,510千円	444千円	18歳パスカード送付数	啓発ポスター作品応募校数	コロナ禍で積極的な啓発活動ができない中、選挙時以外も選挙違反を予防するために、通知の発送等の啓発活動を毎月実施することを、令和4年度までの指標とした。令和5年度以降は、参加型の啓発を積極的に行い、若い世代に選挙に関心を持ってもらうため、出前講座や模擬投票の実施を行うとともに、ポスターコンクールへの応募校を募っていく。					
		根拠法令	公職選挙法									R4予算現額	R4決算額(見込み)				学校向け選挙機材貸出し件数	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
		事業の目的及び具体的な内容	市民が選挙制度を正しく理解して政治や選挙に関心を持ち、自らが進んで投票に参加して選挙が適正に行われるよう、市と所沢市明るい選挙推進協議会が一体となり啓発活動に取り組んでいる。取組みでは、常時啓発として、明るい選挙啓発ポスターコンクールを開催し、選挙時啓発として、選挙のお知らせの全戸配布により選挙の周知や寄附行為禁止等のルール周知、ポスターやガラスシートの掲示、広報車や防災無線による放送を行っている。また、投票率の低い若年層への啓発として、満18歳になった市民へのパスカードの送付、成人のついでにおいて啓発物資を配布するなどの啓発事業を実施している。									R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	出前講座実施回数	R4目標		R4実績	目標達成済み			
		期間	S31 ~									1.00人	0人	実績	100.0%		100.0%	評価者	選挙管理委員会事務局 次長 築地将司	法令を遵守し、市民に正しい政治常識を周知した。	
												7,980千円	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		2,779通	19校	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	所沢市明るい選挙推進協議会や埼玉県選挙管理委員会と協働し、出前講座を実施した。	
												0.70人	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		11件	2件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	小・中・高生を対象とした出前講座等の啓発事業については、投票率の低い若年層への主権者教育にもなるよう工夫する。また、多くの学校に啓発活動に参加していただけるよう、情報提供については、丁寧かつ積極的に行う。	
		5,545千円	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	2件	32	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	小・中・高生を対象とした出前講座等の啓発事業については、投票率の低い若年層への主権者教育にもなるよう工夫する。また、多くの学校に啓発活動に参加していただけるよう、情報提供については、丁寧かつ積極的に行う。												
722	広報課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を										
		重要	自治事務									344,070千円	30,896千円	広報紙発行部数	広報紙配布部数	市民意識調査「市の情報発信に対する満足度」市の広報媒体から必要な情報が得られていると感じる」と答えた人の割合					
		根拠法令	-									R4予算現額	R4決算額(見込み)				デジタルブックの総アクセス件数	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	
		事業の目的及び具体的な内容	市政情報等を的確かつ適切な時期に市民等に分かりやすくお知らせする為、毎月1回1日に広報紙を発行している。特集や連載コーナーなども企画し、積極的に読者に役立つ情報の発信に努めている。配布は、委託により市内全世帯・事業所に戸別配布している。・タブロイド判16ページ・年12回発行併せて、視覚障害者用広報を発行									R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	67.0%		65.5%	目標達成済み			
		期間	S27 ~									2.86人	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		2,098,350部	2,045,197部	評価者	広報課長 田中 浩文	引き続き読みやすくわかりやすい広報紙の作成に努めるとともに、若年層への訴求について検討していく。
												22,823千円	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		2,045,197部	11,455件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	市民のニーズの高い情報をどのように広報していくかを検討する必要がある。令和5年度にははっとメールとLINEとの連携が開始されることから、広報紙をホームページから読む機会も増えることから、若年層への満足度の改善に繋げたい。	
												2.87人	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		11,455件	11,455件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	市民のニーズの高い情報をどのように広報していくかを検討する必要がある。令和5年度にははっとメールとLINEとの連携が開始されることから、広報紙をホームページから読む機会も増えることから、若年層への満足度の改善に繋げたい。	
		22,966千円	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	11,455件	11,455件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	市民のニーズの高い情報をどのように広報していくかを検討する必要がある。令和5年度にははっとメールとLINEとの連携が開始されることから、広報紙をホームページから読む機会も増えることから、若年層への満足度の改善に繋げたい。												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)														
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目													
722	広報課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	コンテンツの評価については令和3年度の数値から改善が見られ、目標値を上回るものとなった為。	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう														
		重要	自治事務									6,936千円		6,873千円	総アクセス件数 公開コンテンツ数	ホームページのコンテンツ評価機能において、ページ内容が「役に立った」「みつけやすかった」と答えた人の割合	利用者が欲しい情報に容易にたどり着き、その情報が満足するものであるかが重要である為、システムの評価機能により現状を把握するものである。	R4年度に改善した点	コンテンツ作成上のルール(日付、曜日の記載方法や表の作成の仕方など)が徹底されるよう、研修を実施しているが、R4年度は動画での研修とし、希望者(71名)全員が受講できる環境を整えた。	11 住み続けられるまちづくりを							
		根拠法令	-									R4予算現額		R4決算額(見込み)							7,775千円	7,713千円	R4目標値が未達成の理由・分析				
		期間	H8 ~									事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	S	コンテンツの評価については令和3年度の数値から改善が見られ、目標値を上回るものとなった為。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
												行政サービスの向上を目的として、ホームページを積極的に活用し、本市の情報や魅力を市内外に発信する。担当課が直接コンテンツを作成・更新できるシステムを使って、事務の迅速化・効率化を図っている。		1.01人	0人		75.0%	73.0%									
												8,060千円		0人	R4目標		R4実績	75.0%									79.4%
												R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	28,296,347件		75.0%	79.4%									
		0.89人	0人									9,705件		R5目標		75.0%											
		7,122千円	0人																								
		評価者	広報課長 田中 浩文																								
722	広報課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	着実に登録者数を増やしており、昨年度から引き続き目標値を上回ることができている為。	R4年度に改善した点	11.住み続けられるまちづくりを														
		重要	自治事務									734千円		702千円	配信件数	利用登録者数(登録メールアドレス件数)	過去の登録者数の増加実績を踏まえ、年間2,000人の増加を目指すものである。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか								
		根拠法令	-									R4予算現額		R4決算額(見込み)						702千円	702千円						
		期間	H20 ~									事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標			R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	S	着実に登録者数を増やしており、昨年度から引き続き目標値を上回ることができている為。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
												メール配信システム(ASPサービス)を利用し、利用登録者に対して市政情報(21カテゴリ)を配信する。・ツイッターと自動連携して同内容を配信している。・市ホームページからも配信内容を見ることができる。		0.47人	0人		27,000人			31,278人							
												3,751千円		0人	R4目標		R4実績			29,000人							31,404人
												R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	2,263件		29,000人			31,404人							
		0.67人	0人																								
		5,361千円	0人																								
		評価者	広報課長 田中 浩文																								
722	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	公開された会議の割合について、目標値には到達していないものの、目標値に近い水準で推移していることから、会議を「原則公開」として市政運営や施策形成における透明性を高めるという目的は推進できている。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを														
		重要	自治事務									35千円		34千円	開催された会議の件数 公開されなかった会議のうち7条2号(個人情報)を理由とした会議の件数 公開された会議(一部非公開を含む)の件数	公開された会議の割合(公開された会議の件数 / (開催された会議の件数 - 公開されなかった会議のうち個人情報を理由とした会議の件数) × 100)	公開された会議の割合が増えることで、市政運営や施策形成における透明性が高まると考える。公開された会議の割合が80%前後で推移していることから、それを上回る85%を目標とした。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか								
		根拠法令	所沢市情報公開条例、所沢市の会議の公開に関する指針、所沢市会議録作成要領									R4予算現額		R4決算額(見込み)						74千円	52千円						
		期間	H13 ~									事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標			R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標値が未達成の理由・分析	A	公開された会議の割合について、目標値には到達していないものの、目標値に近い水準で推移していることから、会議を「原則公開」として市政運営や施策形成における透明性を高めるという目的は推進できている。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
												市政において重要な役割を果たしている各種の審議会等の会議を原則として公開することにより、市政運営や施策形成における透明性を高めることを目的とする。内容としては、会議開催前に開催のお知らせを公表し、会議開催後は、会議開催結果、配布資料、会議録を市政情報センターに配架し、閲覧に供している。(会議録は市ホームページで公開している。)		0.56人	0人		90.0%			81.0%							
												4,469千円		0人	R4目標		R4実績			85.0%							83.0%
												R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	617件		85.0%			83.0%							
		0.56人	0.1人									493件		R5目標		85.0%											
		4,481千円	0.1人									103件															
		評価者	市民相談課長 守谷 秀明																								

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
				会計	投入コスト	活動実績(R4)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目										
722	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和3年度に比べ実績値が増加した要因には、ところざわいきものカードの頒布数(令和3年度23部の売上、令和4年度103部の売上)、行政資料貸出数(令和3年度7件の貸出、令和4年度12件の貸出)が挙げられる。また、都市計画図等については、当該図面の一部区域だけが必要である場合に、コピー対応できるようコピー機の近くに図面を配架する等して、市民が迅速かつ容易に、また安価に必要な情報を得られるようにしており、事業の目的は推進できている。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを								
		重要	自治事務	498千円	435千円	有償頒布数 都市計画図等の図面の有償頒布数 行政資料貸出数	市政情報センターの行政資料利用数(有償頒布数 - 都市計画図等の図面有償頒布数 + 行政資料貸出数)	市の保有情報を積極的に提供することが当該事業の目的となっているため「行政資料利用数」を指標とする。ただし、コピー利用を推進している図面有償頒布数は除く。令和5年度の目標数は過去5年平均数(約485件)を踏まえ、485件とした。	R4年度に改善した点												
		根拠法令	所沢市情報公開の総合的推進に関する要綱、所沢市市政情報センター複写実費徴収金等取扱要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)				697千円			545千円		R3目標	R3実績	令和4年4月15日より開始したキャッシュレス決済に対応することにより、多様な種類の決済手段を導入することによる住民サービスの向上、直接的な現金の受け渡しが必要でない非接触型のキャッシュレス決済端末を導入することによる新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症への対策を図った。					
		期間	H7 ~	事業の目的及び具体的な内容 市民が市政に関する正確でわかりやすい情報を迅速かつ容易に得られるようにすることを目的とする。内容としては、各課で作成又は取得した行政資料を市政情報センターで配架し、閲覧、貸出、有償頒布するほか、提供された情報について一覧表を作成し、窓口や市ホームページで公表している。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	500件	459件			R4目標値が未達成の理由・分析		0.68人	0人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
					5,426千円									R4目標	R4実績	どのように貢献したか					
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.67人	0.1人	556件	81件	12件	450件	487件	市民が市政に関する情報や必要とする情報を迅速かつ容易に得られるように、市政情報センターでの頒布、配架、配布の方法について工夫していく。
					5,361千円									R5目標		485件	目標達成済	市民相談課長 守谷 秀明	市政情報を提供し、市民参加を促した。		
		722	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		A	情報公開請求が年間150~180件前後で推移しているなか、不服申立は生じておらず、目標は達成されている。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
				重要	自治事務	589千円	206千円	請求件数(請求数+申出数) 対象公文書数 公開文書数	公開請求に対する不服申し立て率(%)(不服申立て件数/請求件数(申出は含まない)×100)			情報公開請求に対して適正な対応や丁寧な説明を行うことで、不服申立てが生じる可能性は低くなると考えられることから、指標とした。				R4年度に改善した点					
				根拠法令	所沢市情報公開条例、所沢市情報公開条例施行規則、所沢市情報公開の総合的推進に関する要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)									1,604千円		1,158千円	R3目標	R3実績	職員研修、公文書公開請求決定時等において市民の求めに応じた情報公開請求・情報提供を案内・推奨する、公開請求受付の際に、市民の求めに応じて所管課へ個人情報開示請求への切替えを勧める等、情報公開制度・個人情報保護制度について職員への意識づけを図った。
期間	S63 ~			事業の目的及び具体的な内容 行政の透明化及び市民参加促進により公正・民主的に市政を推進することを目的とする。内容としては、所沢市情報公開条例に定める公文書公開請求に基づき市の保有する公文書を公開する。また、公文書の公開のほか、市政に関する正確でわかりやすい情報を市民が迅速かつ容易に得られるよう、情報公開の総合的な推進及び積極的な情報の提供に努める。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	0.0%	0.0%	R4目標値が未達成の理由・分析	0.67人	0人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
					5,347千円						R4目標	R4実績	どのように貢献したか								
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合					0.77人	0.4人	159件			1364件		793件	0.0%	0.0%	情報公開制度を適正に運営するため、情報公開制度についての市民への案内、職員の啓発に取り組む必要がある。
					6,162千円						R5目標		0.0%			目標達成済		市民相談課長 守谷 秀明	情報公開を適切に行うことで、公正で民主的な市政の推進に寄与した。		
722	議会事務局			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標は達成しなかったが、昨年度からのアクセス数は増加し、議会の活動を多くの市民に伝えることはできた。今後も引き続き読みやすくわかりやすい市議会だよりの作成に努めていく。			R4年度に改善した点		10人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に			
				優先	自治事務	22,441千円	22,231千円	発行部数 デジタル版の作成部数 点字版の作成部数	市議会ホームページに掲載している「ところざわ市議会だよりPDF版」へのアクセス件数	前年度実績の5%増	R4年度に改善した点										
				根拠法令	所沢市議会基本条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)				23,297千円					23,061千円			R3目標	R3実績	ポスティングによる全戸配布を実施したことで、これまで以上に多くの市民に市議会の活動をお知らせすることができた。
		期間	S45 ~	事業の目的及び具体的な内容 議会の活動を多くの市民にわかりやすくお知らせするため、年4回の定例会後に発行する市議会広報紙である。ポスティングによる全戸配布や公共施設、所沢駅構内パンフレットラックへの配架を行うとともに、市議会HPでのPDF版の公開、全国の自治体の広報紙を読めるスマートフォン・タブレット用のアプリ「マチロ」への掲載等も行っている。また、デジタル版・点字版も作成している。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	44,336	48,499	R4目標値が未達成の理由・分析	1.10人			0人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
					8,778千円						R4目標			R4実績	どのように貢献したか						
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合					1.03人			0人	174,400部	52部	104部		50,923	49,093	令和3年度より開始したポスティングによる全戸配布が定着したことに加え、表紙や内容、レイアウト等、市民の目につきやすいよう工夫したことで、紙ベースでの読者が増加したことが想定され、その結果ホームページのPDF版のアクセス数の増加が鈍化したと考えられる。
					8,242千円						R5目標				51,547	目標達成済	議会事務局参事 瀧澤 恵		より見やすい紙面構成になるよう見出しなどを工夫するとともに、写真やイラストを多く使用し、紙面の充実にも努めていく。		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)										
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目										
722	経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに												
		優先	自治事務										9,251千円	8,471千円	R4予算現額	R4決算額(見込み)	広報紙発行回数 啓発イベントの実施回数	広報紙の発行回数	8月発行号ではマンホールサミットin所沢の告知、12月発行号では決算報告を掲載するため、年2回の発行を目標とした。	A	「読んで得する・知って得する」をコンセプトに令和元年度に発行した広報紙は、わかりやすく上下水道事業を知っていただく契機となった。市のイメージマスコットである「トコロん」と上下水道局イメージマスコットである「所沢しずく」の4コマ漫画の連載により、親しみやすい紙面とすることができた。また、イベントについても多くの利用者から、反響を頂き、積極的な広報活動に理解を得ることができた。	さらにもっと多くの利用者から、反響を頂き、積極的な広報活動に理解を得ることができた。		
		上下水道事業のイメージアップ戦略への取組(啓発イベント・広報紙発行等)	根拠法令										10,877千円	8,757千円									R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合
			事業の目的及び具体的な内容										1.41人	0人	2回	2回								
			上下水道事業の経営状況や施策事業の取組等に関する幅広い情報について、積極的な広報活動を行うことにより、利用者の理解と協力が得られるように「事業の見える化」に努め、公営企業として経営健全化等を図るものである。										11,252千円	0人	R4目標	R4実績								
		期間											1.78人	0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	2回 3回	R5目標					目標達成済	
		R1 ~											14,244千円	0人			2回							
723	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを												
		重要	自治事務										113千円	31千円	R4予算現額	R4決算額(見込み)	市長への手紙としての受理件数	市長回答に要する日数(回答にかかった総日数÷件数)	A	目標達成とまではならなかったが、回答作成依頼を最優先に取り組むことで、回答に要する日数を短縮することができたものの、回答作成に日数を要するものが多く、前年よりも数値が高くなった。なお、当指標は最も回答までに時間を要する市長回答としての指標であり、迅速に対応できる所管部局対応では、より早い日数での回答ができています。				
		個別広聴事業	根拠法令										115千円	84千円							R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標
			所沢市市政提案箱実施要領										1.24人	0人	14日	14.4日								
			事業の目的及び具体的な内容										9,895千円	0人	14日	15.1日								
		多様化する市民の意見・要望・提案に迅速、的確に対応するとともに市政運営に活かしていくことを目的とする。専用封書等の郵便、FAX、電話、窓口での申出、電子メール等様々な方法で寄せられる市長への手紙や陳情等による市民の意見・要望・提案を受け対応する。	1.13人										0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	495 15	R5目標				政策的な検討等に時間を要し、最長で69日を要したのもあったことから、結果として平均値が目標日数を上回り、目標日数での回答には至らなかった。			
		期間	S43 ~										9,042千円	0人			14日							
723	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R4年度に改善した点	R4年度に改善した点	1 貧困をなくそう												
		重要	自治事務										19千円	15千円	R4予算現額	R4決算額(見込み)	開催回数	市政懇談会の開催回数	A	多様な意見や要望等を聴き、市民参加による開かれたまちづくりを積極的に推進するため、開催回数を指標とする。				
		市民相談課	根拠法令										17千円	14千円							R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標
			所沢市市政懇談会実施要領										0.28人	0人	7回	5回								
			事業の目的及び具体的な内容										2,234千円	0人	R4目標	R4実績								
		多様な意見や要望等を聴き、市民参加による開かれたまちづくりを積極的に推進することを目的とする。各種団体等から要請を受け、市の施策や事業に関する意見、提案、要望等について意見交換を行う。	0.29人										0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	8回	R5目標				目標達成済			
		期間	S48 ~										2,321千円	0人			7回							

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
741	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	左記理由分析欄にも記したとおり、改善の余地がある事業については、9割以上で事業の改善を図っている。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も					
		重要	自治事務	140千円	68千円	事務事業評価実施数 組織目標における目標達成に向けた重点事業項目数 公共事業評価委員会の実施回数	事務事業評価において、全事業の中で当該年度中に「改善した点」があった事業の割合	目的の達成に向けて現状の課題に対する改善を行っていく中で、どの事業においても何らかの改善を行うよう促す。	R4目標値が未達成の理由・分析			政策体系図の照会において、事務事業評価の必要性が高い事業を評価対象として選択するよう全庁的に周知した。また、併せて管理職を対象とした行政評価に関する庁内研修を実施することにより、効果的なPDCAサイクルが実践できるよう働きかけを行った。						
		根拠法令	所沢市自治基本条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)							140千円		0千円	R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		所沢市マネジメントシステム推進事業	事業の目的及び具体的な内容	事業の企画立案・予算化・実施・評価検証などの市政運営を所沢市マネジメントシステムの仕組みに沿って進めていくことで、より合理的かつ効果的に市政を進めていく。具体的には、総合計画の実現に向けた実施計画の策定を行ったうえで、事務事業評価などにより評価検証し、当該事業のさらなる改善につなげていく。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	100%	96.1%			R4目標値が未達成の理由・分析		事業内容によっては、国の制度に従って実施しているなど、改善の余地が少ないものがあるため。				
					0.52人	0人								R4目標	R4実績			
					4,150千円	0人								100%	92.9%			
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.53人	0人	R5目標	100%	
		期間	H25 ~	4,241千円	0人	476事業 74事業 0回								評価を行うことで、事業に対する職員の意識改革を進めた。				
		741	障害福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		S	目標を達成した。アンケート調査により、本市における障害者施策及び障害福祉サービス等に対する評価やニーズ等の実態を把握することができた。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを	
				優先	自治事務	0千円	0千円	施策推進協議会議開催日数 アンケートの件数	第6次所沢市障害者支援計画の策定			令和5年度をもって、第5次所沢市障害者支援計画の計画期間が終了することから、令和6年度から3年間を計画期間とする、第6次障害者支援計画を策定することを目標とした。				R4目標値が未達成の理由・分析		これまで、アンケート調査と計画策定を同年に行っていたが、より十分に策定の審議ができるよう、策定の前年にアンケート調査を行った。
根拠法令	障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法、			R4予算現額	R4決算額(見込み)	2,940千円	2,365千円			R3目標	R3実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
第6次所沢市障害者支援計画策定事業	事業の目的及び具体的な内容			「第6次所沢市障害者支援計画」は障害者の自立と社会参加を支援するための施策である「所沢市障害者計画」、福祉サービス等の提供体制の確保を目的とする「所沢市障害福祉計画」、及び「所沢市障害児福祉計画」の3計画を一体化し、令和6年度から令和8年度までの本市の障害福祉施策の指針となる計画を策定するものです。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	-	-	R4目標値が未達成の理由・分析	目標達成済							
					0.00人	0人					R4目標	R4実績						
					0千円	0人					アンケート調査実施	アンケート調査実施						
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合					0.52人	0人	R5目標			第6次計画策定		
期間	R4 ~ R5			4,161千円	0人	4回 3,500件					令和5年度は策定の基礎資料として得たアンケート調査や障害者施策推進協議会等の意見を踏まえ策定内容を検討していく。							
741	高齢者支援課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標に達している。調査内容を見直し、回答者の負担軽減や計画策定に必要な項目を追加するなどの改善を行った。			R4年度に改善した点		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
				優先	自治事務	0千円	0千円	計画策定に係る予備調査である「高齢者福祉・介護実態調査」の実施	第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定完了	法定計画であり、概ねのスケジュールも順次回が示す指針、手引きの発出のタイミングで実施していくため、年度内に実施すべき項目の完了を目標とした。	R4目標値が未達成の理由・分析					質問項目に関し、高齢者福祉計画推進会議委員の意見も踏まえ見直しを行った。		
		根拠法令	介護保険法、老人福祉法	R4予算現額	R4決算額(見込み)	7,852千円	5,572千円							R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業	事業の目的及び具体的な内容	高齢者福祉・介護保険に関する事項を定める「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を3年を1期として策定する。諮問機関への諮問・答申、市民の意見聴取、県の記載事項承認等の所定の手続きを経て滞りなく計画を策定し、令和6年度からの運用に入ることが目的となる。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	-	-	R4目標値が未達成の理由・分析	目標達成済み							
					0.00人	0人					R4目標			R4実績				
					0千円	0人					高齢者福祉・介護実態調査実施完了			完了した				
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合					0.73人			0人	R5目標	計画策定完了		
		期間	R4 ~ R5	5,841千円	0人	配布件数：8,100件 回収件数：5,981件 回収率：73.8%					第8期計画期間中における実績が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることから、目標値の設定やサービス量の推計等について、当該実績やコロナ禍後の状況等に十分留意の上行っていく。							

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
741	こども政策課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	各事業の進捗状況の自己評価を子ども・子育て会議で報告し、承認をいただいた。計画書に掲げる事業については、順調に進んでいる。	R4年度に改善した点	1 貧困をなくそう				
		重要	自治事務								R4予算現額		R4決算額(見込み)	子ども・子育て会議開催回数	目標達成の考え方・根拠	R4年度に改善した点
		根拠法令	子ども・子育て支援法、所沢市子ども・子育て会議条例								0千円		0千円	出席委員数(延べ)	計画書に掲げる主要な事業等(教育・保育と地域子ども・子育て支援事業、計17事業)について、事業が順調に進んでいるかどうかを把握するもの。 令和4年度からは、地域子ども・子育て支援事業に1事業追加し、計18事業となっている。	子ども・子育て会議での委員からの意見を踏まえ、事業計画の見直しを行った。また、個別テーマを継続的に取り上げることで議論を深めることができ、有用な意見を聴取することができた。
		事業の目的及び具体的な内容	子どもたちが「明るく・楽しく・元氣よく」過ごせる環境整備を目指すため、所沢市子ども・子育て支援事業計画を策定し、定期的に計画の点検・見直しを行うなど、社会情勢の動向に合わせて施策等の着実な実施を図ることを目的とする。計画の策定・点検・見直しの際は、所沢市子ども・子育て会議委員の意見を参考にし、多様な意見を反映するよう努める。								R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		1.43人	0人								17事業		17事業	評価者	16 平和と公正をすべての人に	
		11,411千円	0人								R4目標		R4実績	子ども政策課長 田中 綾子	どのように貢献したか	
		1.20人	0人								R5目標		R5実績		計画の進捗管理には、多様な視点による点検・評価が必要である。会議においては委員相互の活発な意見交換の機会を最大限に確保し、これらの意見を参考にすることにより、市民ニーズを適切に反映していく。	
H27 ~		9,602千円		3回	18事業	18事業	目標達成済み									
741	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	本計画における、保健・医療・介護・福祉分野の充実を図るために適した目標を設定し、計画を効果的、効率的に推進する。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
		優先	自治事務								R4予算現額		R4決算額(見込み)	計画推進委員会開催数	目標達成の考え方・根拠	R4年度に改善した点
		根拠法令	埼玉県地域保健医療計画、第6次所沢市総合計画前期基本計画								762千円		389千円	計画庁内推進会議開催数	本計画における、保健・医療・介護・福祉分野の充実を図るために適した目標を設定し、計画を効果的、効率的に推進する。	・定量的な指標：目標値(R7年度)に対する年度ごとの実績値で達成率を算出し、S-Dの5段階で評価 ・定性的な指標：現状(基準年)と同程度で維持している取組の達成度は基本的に「」とし、改善等は「」、未実施等は「」とし、「」以外は理由を特記事項に記載
		事業の目的及び具体的な内容	本計画は、第6次総合計画前期基本計画の課題である「元氣でいきいき「健幸(けんこう)長寿のまち」の実現に基づき、市民一人ひとりが、それぞれのおかれている状態の中で、心身の健康を実感しながら、地域の中で安心していきいきと暮らせるまちを目指している。そのため、本計画では、市や関係機関などが実施している保健・医療分野等の取り組みを整理・評価することで、保健医療施策が効果的、効率的に推進できるよう努めるものである。								R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		1.07人	0人								100.0%		89.5%	3回	当該年度の実績は翌年度に評価を行い確定するものであり、令和4年度実績は現在審議中である。	・定量的な指標については、協議の上、計算方法の整備、統一を図った。
		8,539千円	0人								R4目標		R4実績	3日(うち1回は書面会議)	実績の確定した令和3年度については、全評価項目(38)のうち、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため事業等を中止したことにより、「未評価」(-)となった項目が3箇所あったため、未達成となった。	在宅医療に関する講演会の開催等、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した取組については、代替行事や規模を縮小しての開催など、再開ができるような工夫を行い、「未評価」の実績を減らしていく。
		0.87人	0人								R5目標		R5実績	令和4年度は審議中(R3年度:89.5%)		
H28 ~		6,962千円			100.0%											
741	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	マチごとエコタウン推進計画の中間改定作業を着実に進めている進捗判断基準として、環境審議会開催回数を指標にしており、4回の審議会を経て、計画の中で新たに位置づける「(仮称)所沢市脱炭素ロードマップ」の全体像を決定するものとしている。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに				
		優先	自治事務								R4予算現額		R4決算額(見込み)	環境審議会開催	目標達成の考え方・根拠	R4年度に改善した点
		根拠法令	所沢市環境基本条例、所沢市環境審議会条例								903千円		496千円	事業者への意識調査の発送	令和5年度中の計画改定	環境審議会を4回開催し、目標は達成している状況にある。環境審議会での、様々な立場の委員の方々から意見を計画改定の素案に反映することができた。
		事業の目的及び具体的な内容	令和元年度から令和10年度までの10年間を計画期間とする。「所沢市マチごとエコタウン推進計画(第3期所沢市環境基本計画)」において、令和5年度は中間年次に該当する。そのため、令和4年度から5年度にかけて、ゼロカーボンシティ宣言、社会情勢変化や市民の意見、関連法、施策の達成状況等を踏まえて、環境審議会にて検討を行い、中間改定を実施する。								R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		0.00人	0人								-		-	4回開催(5月、10月、11月、2月)	環境審議会の開催(4回)	令和5年度末の計画改定を目指し、定期的な環境審議会の開催、効果的な指標や施策の設定、パブリックコメントの実施など、着実な改定作業を進める。
		0千円	0人								R4目標		R4実績	市内468社に発送した	環境審議会の開催(4回)	また、マチごとゼロカーボン市民会議の結果を環境審議会の審議を通じて、市民の意見が反映された計画となるよう目指す。
		1.50人	0人								R5目標		R5実績		改定版の公表	
R4 ~ R5		12,003千円														

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト	活動実績(R4)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
741	都市計画課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	都市計画審議会専門部会の開催 庁内検討委員会の開催 まちづくりの方針(ターゲット)の設定	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	都市計画審議会専門部会や庁内検討委員会において、意見聴取などを行い、まちづくりの方針(ターゲット)を設定することができた。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを		
		優先	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)						R3目標		R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	都市再生特別措置法、都市計画法、所沢市都市計画審議会条例		11,178千円	13,088千円						R4目標		R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		事業の目的及び具体的な内容	所沢市都市計画マスタープランに掲げる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の街づくりを実現するため、立地適正化計画を策定している。本計画では、市街化区域内に「居住誘導区域」及び「都市機能誘導区域」を設定するとともに、市街化調整区域においても地域の長をを生かした区域の設定を行うなど、「地域公共交通計画」と連携を図り、人口減少・超高齢社会に対応した持続可能な都市構造の構築を目指す。		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合						R5目標		R5実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	R4 ~ R5		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		実績	目標達成済
					1.59人	0人						3回 2回 完了		まちづくりの方針(ターゲット)の設定	まちづくりの方針(ターゲット)の設定
741	市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	所沢市営住宅等マネジメント計画策定業務委託契約の締結	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	契約期間内である令和5年3月に業務が完了し、市の要求した仕様に沿った調査報告書が作成されたものである。	R4年度に改善した点	1 貧困をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを		
		優先	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)						R3目標		R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	住生活基本法、公営住宅法		7,700千円	7,326千円						R4目標		R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		事業の目的及び具体的な内容	令和3年度に策定した所沢市営住宅等長寿命化計画の内容を踏まえ、今後の市営住宅政策の抜本的な検討に向け、PFI、借上住宅等の民間資本・技術の導入も含めた手法の比較検討、費用対効果の検証、事業リスク等課題を整理し、市営住宅整備の方向性を示すものである。		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合						R5目標		R5実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	R4 ~ R5		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		実績	目標達成済
					0.00人	0人						プロポーザル方式による事業者募集を行い、「選定業者」と委託契約を締結した。		契約期間内における報告書作成	報告書作成済み
741	市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	企業	R3予算現額	R3決算額	再整備基本計画・経営強化プラン策定支援委託事業者選定 再整備基本計画基本方針の検討	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	市民医療センター運営委員会、庁内関係部署による調整会議において、意見聴取及び検討し、再整備基本計画基本方針の決定、経営強化プラン骨子案を作成することができた。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
		最優先	自治事務		R4予算現額	R4決算額(見込み)						R3目標		R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	第2次所沢市保健医療計画、所沢市市民医療センター再整備基本構想		16,500千円	13,277千円						R4目標		R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		事業の目的及び具体的な内容	担うべき医療機能、機能に沿った施設整備や経営形態等について具体的に検討し、再整備基本計画を策定するものである。また、令和4年3月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、役割・機能の最適化と連携の強化、医師・看護師等の確保と働き方改革、新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組などを盛り込んだ経営強化プランを策定する		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合						R5目標		R5実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	R4 ~ R5		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		実績	目標達成済
					0.00人	0人						プロポーザルにより委託事業者の選定		委託事業者選定及び、計画等検討	委託事業者選定及び、計画等検討

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
743	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	成果創出期の事業については、文化芸術・教育分野を中心に㈱KADOKAWAとの共同により概ね順調に進んでいる。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も							
		優先	自治事務								R4予算現額		R4決算額(見込み)	TEAM NEXT開催回数	J R東所沢駅の乗降客数(一日平均)	構想の推進エリアとなる東所沢の人の流れを増やすという視点から、J R東所沢駅の一日平均の乗降客数を指標とした。	R4目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを	
		根拠法令	-								278千円		201千円						成果創出期の進捗状況
		期間	H27 ~								事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
											株式会社KADOKAWAと協力して文化事業や企業誘致等、産官共同で事業展開を行い、構想に示した「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現を目指す。成果創出期として、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める。		0.77人	0人		15,000人	13,345人		
													6,145千円	0人		R4目標	R4実績		
													1.06人	0人		15,000人	14,281人		
			8,482千円	0人	1回	R5目標		外出自粛やテレワークの普及により乗降客数が減少し、目標値には達していないものの、徐々に人の動きが戻ってきている。	どのように貢献したか										
					eスポーツパネル展示、武蔵野回廊文化祭への出展	15,000人		市内事業者との連携事業など、これまで以上に地域活性化を進めていく必要がある。	民間事業者である㈱KADOKAWAと共同でまちづくりを進めた。										
								評価者	経営企画課長 小池 純一										
743	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	指標については一部未達成のものもあるが、重点プロジェクトについては、予定通り順調に進捗しており、各戦略方針についても概ね順調に進んでいることから、所沢市総合戦略は順調に進んでいる。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も							
		-	自治事務								R4予算現額		R4決算額(見込み)	「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数	4つの戦略方針に掲げる戦略指標を達成した数(全6指標)	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標(KPI)」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略指標」を戦略方針ごとに設定。総合戦略は令和7年度までに目標達成を目指すものである。	R4目標値が未達成の理由・分析	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
		根拠法令	まち・ひと・しごと創生法								0千円		0千円						「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関する事業数
		期間	H27 ~								事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
											「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標(KPI)の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進捗管理する。		0.19人	0人		4	3		
													1,516千円	0人		R4目標	R4実績		
													0.30人	0人		5	集計中		
			2,401千円	0人	1回	R5目標		令和3年度から7年度までの計画期間において、進捗管理を進めていく。	国の支援措置を受けるために管理を行い、効果的な地域活性化に貢献した。										
								評価者	経営企画課長 小池 純一										
743	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	新型コロナウイルス感染防止の観点から、市民相互利用交流者数が少なかったため。	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう							
		重要	自治事務								R4予算現額		R4決算額(見込み)	相互利用対象施設数	市民相互交流者数(圏域施設相互利用者数+交流事業参加)	公共施設の相互利用や圏域住民の交流を図ることが当該事業の目的となっていることから、圏域内の交流者数を指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを	
		根拠法令	-								731千円		721千円						活動専門部会数
		期間	S63 ~								事業の目的及び具体的な内容		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
											所沢市、飯能市、狭山市、人間市、日高市の5市で組織する埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)について、構成市の連携・交流を深め、広域的な行政課題への取組を推進する。具体的な取組内容としては、公共施設の相互利用や施設間のネットワーク化、交通網整備など、圏域住民の利便性や交流を図る。また、イベント等により構成5市の連携を促進する。		0.26人	0人		550,000人	356,611人		
													2,075千円	0人		R4目標	R4実績		
													0.45人	0人		550,000人	456,482人		
			3,601千円	0人	86施設	R5目標		新型コロナウイルス感染防止の観点から、市民相互利用交流者数が少なかったため。	どのように貢献したか										
					8部会	550,000人		「第3次埼玉県西部地域まちづくり構想」に基づいて、圏域のさらなる活性化に取り組む。	協議会として、将来を見据えた計画の策定作業を実施し、公共施設利用の公平性や圏域の魅力向上に貢献した。										
								評価者	経営企画課長 小池 純一										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
744	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう										
		-	自治事務								8,382千円	5,687千円	全庁における総支援件数	年度内のマイナポイント設定支援実施率(=支援件数(登録まで完了した件数)/カード交付枚数) マイナポイント第2弾-集計対象	マイナポイントの申し込みを希望する市民に支援を行うことが目的であるため、マイナンバーカードを新たに取得した市民に対して、どのくらいマイナポイント設定支援を行ったかを目標として設定した。					
		根拠法令	-								R4予算現額	R4決算額(見込み)				40,121千円	34,784千円			
		事業の目的及び具体的な内容	マイナンバーカード新規取得者等に最大20,000円相当のポイントを付与する国のマイナポイント事業について、申込みを自身で行うことが困難な市民のため、派遣職員等により申込手続に係る各種支援を実施するものである。								R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合				0.62人	0人	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	R3 ~ R5								4,948千円	0人				実績	10%	11.3%	R4目標値が未達成の理由・分析	目標達成済。 マイナポイント第2弾開始後、マイナポイント設定支援の需要が高まった。あわせて、広報や庁内掲示等を通じて周知を行ったことで、より多くの市民に支援を行うことができた。
		0.62人	0人								43,182件	R4目標				R4実績				
		4,961千円	0人									30%				42.9%				
		0.62人	0人									R5目標								
		4,961千円	0人									20%								
		評価者	経営企画課長 小池 純一								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				マイナポイント支援を行うことで、マイナンバーカードやキャッシュレス決済の普及を促進し、DXの基盤構築に繋がる。				
744	デジタル戦略課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう										
		最優先	自治事務								1,958千円	1,289千円	導入ツール 活用所属数 削減効果時間(算出可能なもの)	AI等技術の活用所属数(全所属で利用できるツールを除く)	AI等を積極的に活用できる所属・人材を増やし、DX推進の基盤を作っていく必要があるため、活用所属数を指標とする。					
		根拠法令	-								R4予算現額	R4決算額(見込み)				6,159千円	5,222千円			
		事業の目的及び具体的な内容	AI・RPA等の技術を活用し、事務効率を向上させ、職員が「職員でなければ遂行できない業務」に時間を振り向けることができるようにする。								R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合				0.35人	0人	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	R3 ~								2,793千円	0人				実績	3	4	R4目標値が未達成の理由・分析	目標達成済み
		0.25人	0人								AI-OCR, RPA 11 1324	R4目標				R4実績				
		2,001千円	0人									8				11				
		0.25人	0人									R5目標								
		2,001千円	0人									15								
		評価者	デジタル戦略課 井上大樹								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				導入ツール・活用所属数を拡大していく。 AI等を活用し、業務効率を向上させた				
744	文書行政課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを										
		優先	自治事務								0千円	0千円	システム稼働率	システム稼働率	職員の法規業務の効率化及び市民への情報提供を目的としているため、安定したシステムの稼働が必要である。					
		根拠法令	特になし								R4予算現額	R4決算額(見込み)				3,106千円	2,516千円			
		事業の目的及び具体的な内容	例規集の管理及び法令集の閲覧をデータベースで行うことにより、法規業務の効率化を図るとともに、システムを通じて例規集をインターネット上で公開することにより、市民等への情報提供を行い、行政サービスの向上につなげるものである。令和4年9月末をもって前システムの委託契約期間が終了したため、システムを更新するとともに、その運用管理を委託したものである。								R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合				0.00人	0人	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	R4 ~ R9								0千円	0人				実績			R4目標値が未達成の理由・分析	目標達成済
		6.15人	0人								100%	R4目標				R4実績				
		49,212千円	0人									100.0%				100.0%				
		6.15人	0人									R5目標								
		49,212千円	0人									100.0%								
		評価者	文書行政課長 吉田 美由紀								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				システムの安定した稼働を図るとともに、引き続き法規業務の効率化及び市民サービス向上のため、随時データの更新を行っていく。				

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
744	介護保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	<p>介護保険システム改修事業</p> <p>平成29年12月から5年リースで運用している介護保険システムを令和4年12月以降更新するに当たり、国による地方自治体業務システムの統一・標準化の取組における標準準拠システムを導入するための検討及び作業期間を十分に確保することで円滑な移行を図るため、従来のシステムを再リースし、セキュリティ強化のため改修を行うものである。</p>	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
		B	自治事務		0千円	0千円	R4年11月30日までのセキュリティ強化改修実施	活動項目の達成率	目標設定の考え方・根拠	介護保険制度における保険者としての機能を停止することなく事務を執行するためには、当該目標を達成することが必須であるため。			R4年度新規事業のため改善点なし。		11 住み続けられるまちづくりを
		根拠法令	介護保険法		R4予算現額	R4決算額(見込み)									
		事業の目的及び具体的な内容	0.00人		0人	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0人	実績	-			-		R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	0千円		0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0人	実績	-			-		R4目標値が未達成の理由・分析
		R4 ~ R7	0.74人		0人	5,921千円	0人	0人	実績	-			-		R4目標値が未達成の理由・分析
		0.74人	0人		5,921千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
		0.74人	0人		5,921千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
		0.74人	0人		5,921千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
		0.74人	0人		5,921千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
0.74人	0人	5,921千円	0人	0人	実績	-	-	R4目標値が未達成の理由・分析							
744	介護保険課	実施計画ランク	事業の種類別	特別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	<p>介護保険システム機器更新事業</p> <p>平成29年12月から5年リースで運用している介護保険システム機器を令和4年12月以降更新するに当たり、従来機器は経年による劣化・性能陳腐化が進んでいることから、介護保険システム稼働に必要な各種調整を行った新規パソコン及び周辺機器へ入れ替えるものである。</p>	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
		B	自治事務		0千円	0千円	更新機器台数: デスクトップパソコン19台、ノートパソコン16台、大型レーザープリンタ2台、卓上レーザープリンタ3台、スキャナ2台	活動項目の達成率	目標設定の考え方・根拠	介護保険制度における保険者としての機能を停止することなく事務を執行するためには、当該目標を達成することが必須であるため。			R4年度新規事業のため改善点なし。		11 住み続けられるまちづくりを
		根拠法令	介護保険法		R4予算現額	R4決算額(見込み)									
		事業の目的及び具体的な内容	0.00人		0人	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0人	実績	-			-		R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	0千円		0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0人	実績	-			-		R4目標値が未達成の理由・分析
		R4 ~ R9	0.64人		0人	5,121千円	0人	0人	実績	-			-		R4目標値が未達成の理由・分析
		0.64人	0人		5,121千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
		0.64人	0人		5,121千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
		0.64人	0人		5,121千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
		0.64人	0人		5,121千円	0人	0人	実績	-	-			R4目標値が未達成の理由・分析		
0.64人	0人	5,121千円	0人	0人	実績	-	-	R4目標値が未達成の理由・分析							
745	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	<p>個人情報保護制度推進事業</p> <p>市の保有する個人情報の適正な取扱いを図り、個人の権利や利益の保護と公正で信頼される市政の推進を目的とする。内容としては、個人情報開示請求等の相談と受付、個人情報の取扱状況の把握及び出前講座や研修を通じて、市民や職員への個人情報保護制度の周知を図っている。</p>	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
		重要	自治事務		589千円	206千円	個人情報開示請求等 個人情報取扱事務届出書	開示請求に対する不服申立て率(%) (不服申立て件数 / 請求件数 × 100)	目標設定の考え方・根拠	令和3年度及び令和4年度において開示請求に対する不服申立てが1件ずつ生じたことから、開示請求に対する不服申立てが1件生じると見込んで、1.5%を指標とした。			R4年度新規事業のため改善点なし。		11 住み続けられるまちづくりを
		根拠法令	個人情報保護法		R4予算現額	R4決算額(見込み)									
		事業の目的及び具体的な内容	1.25人		0人	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0人	実績	0.0%			1.6%		R4目標値が未達成の理由・分析
		期間	9,975千円		0人	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.4人	実績	0.0%			1.5%		R4目標値が未達成の理由・分析
		H13 ~	1.08人		0.4人	8,642千円	0.4人	0.4人	実績	0.0%			1.5%		R4目標値が未達成の理由・分析
		1.08人	0.4人		8,642千円	0.4人	0.4人	実績	0.0%	1.5%			R4目標値が未達成の理由・分析		
		1.08人	0.4人		8,642千円	0.4人	0.4人	実績	0.0%	1.5%			R4目標値が未達成の理由・分析		
		1.08人	0.4人		8,642千円	0.4人	0.4人	実績	0.0%	1.5%			R4目標値が未達成の理由・分析		
		1.08人	0.4人		8,642千円	0.4人	0.4人	実績	0.0%	1.5%			R4目標値が未達成の理由・分析		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
				会計	投入コスト	活動実績(R4)	成果指標	総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
754	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づく複合化の実施時期に到達していないため、総面積の設定目標は達成していない。公共施設等総合管理計画の改訂及び公共施設長寿命化計画の策定を実施し、「公共施設の総量適正化」に向けて計画的なマネジメントを実践していく。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
		重要	自治事務	1,198千円	1,172千円	長寿命化改修に向けた先進自治体視察及びアンケート	公共施設の総面積	公共施設等総合管理計画に掲げる「公共施設の総量適正化」の状況を測るため、公共施設(インフラを除く)の総面積を指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析			R4年度に改善した点					
		根拠法令	インフラ長寿命化基本計画、所沢市公共施設等総合管理計画、所沢市公共施設長寿命化計画	R4予算現額	R4決算額(見込み)									2,357千円	2,155千円	日常点検の実施	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		公共施設マネジメント推進事業	事業の目的及び具体的な内容	公共施設等の総合かつ計画的な管理を進める。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
					0.52人	0人		715,675.08㎡(H29)以下	718,037.74㎡								
					4,150千円	0人		R4目標	R4実績							715,675.08㎡(H29)以下	718,287.15㎡
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		6件	715,675.08㎡(H29)以下							718,287.15㎡	
		期間	H23 ~	1.45人	0人	395件	R5目標	715,675.08㎡(H29)以下	施設の更新等に伴い、公共施設の床面積が増加したため、また、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づく複合化の実施時期に到達していないため。			評価者		経営企画課長 小池 純一	どのように貢献したか	公共建築物の修繕を財政負担の平準化を図りながら計画的に進めた。	
754	管財課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	夏期、冬期における節電の取り組みにより、環境負荷の削減に努めた。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに				
		優先	自治事務	251,980千円	250,456千円	公共料金の支払料金(電気・ガス・上下水道・電話)	庁舎年間電力使用量の削減	平成22年度と比較した年間電力使用量削減率(22年度年間電力使用量 3,029,809kWh)	R4目標値が未達成の理由・分析			R4年度に改善した点					
		根拠法令	所沢市庁舎管理規則	R4予算現額	R4決算額(見込み)									259,463千円	258,028千円	電力使用量	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		市庁舎管理事業	事業の目的及び具体的な内容	本事業は、庁舎の効率的かつ効果的な運用を行うことで、安全かつ快適な施設の運用を図るものである。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
					2.23人	1人		5.0%	12.0%								
					17,795千円	1人		R4目標	R4実績							5.0%	16.0%
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		113,850,874円	2,551,952kWh							5.0%	16.0%
		期間	S61 ~	2.23人	1人	2,551,952kWh	R5目標	5.0%	目標達成済			評価者		管財担当参事 高橋 国弘	どのように貢献したか	「ところざわ未来電力」を通じた環境に優しい電力の利用で二酸化炭素排出量の削減に大きく貢献した。	
754	管財課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	老朽化の度合いを考慮しつつ、予算の範囲内で効率的修繕・工事を実施した。	R4年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに				
		優先	自治事務	23,443千円	23,394千円	建築・衛生・厨房設備修繕件数	建築・衛生・厨房設備修繕件数	修繕必要条件における達成件数	R4目標値が未達成の理由・分析			R4年度に改善した点					
		根拠法令	-	R4予算現額	R4決算額(見込み)									29,500千円	29,500千円	電気設備修繕件数	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		市庁舎修繕事業	事業の目的及び具体的な内容	本事業は、市庁舎施設の老朽化に伴う設備の不具合箇所等を改善し、建物・空調・機械・電気・衛生設備等の設備性能を維持改善することにより、来庁者や職員の安全確保、快適性や執務環境の向上・充実を図るため、市庁舎の修繕を行うものである。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
					0.98人	0人		40件	27件								
					7,820千円	0人		R4目標	R4実績							40件	38件
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		19件	10件							40件	38件
		期間	S63 ~	0.83人	0人	9件	R5目標	40件	計画的に行っている修繕と異なり、突発的に発生した修繕に多額の費用がかかったため			評価者		管財担当参事 高橋 国弘	どのように貢献したか	「環境配慮事項等伝達書」に基づき、再資源資材の活用や安心安全な労働環境の促進に努めた	

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)															
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目															
754	高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を																	
		-	自治事務										0千円	0千円	契約・機器発注 改修工事	事業の進捗率	本事業は、施設の空調設備等を令和4・5年度の継続事業で実施するものであるため、それぞれの年度での進捗管理が重要であることから事業の進捗率を指標とする。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを										
		新所沢けやき通り老人デイサービスセンター空調設備等改修事業	根拠法令										R4予算現額	R4決算額(見込み)						実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			-										11,990千円	4,600千円												R4目標	R4実績		
			事業の目的及び具体的な内容										R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合														R4目標値が未達成の理由・分析	R4実績
			新所沢けやき通り老人デイサービスセンターのガス式ヒートポンプマルチエアコンが故障したことから、サービスに支障を来すことがないよう改修工事を実施するものである。										0.00人	0人															
		期間	R4正規職員人件費										R4その他職員従事割合	R5目標						R5実績									
		R4 ~ R5	0.10人										0人	20.0%						20.0%	目標達成済み	高齢者が安心して施設を利用できるように、空調設備改修事業費を速やかに予算化し、工事に着手したため。	施設の利用制限を最小限に留め、工事期間中における利用者への安全に十分配慮し、速やかに工事を完了をする。	利用者が健康・安全に過ごすための施設環境の整備に貢献。					
			800千円										0人	100.0%															
		754	高齢者支援課										実施計画ランク	事業の種類別						R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
-	自治事務			0千円	0千円	契約・機器発注 改修工事	事業の進捗率	本事業は、施設の空調設備等を令和4・5年度の継続事業で実施するものであるため、それぞれの年度での進捗管理が重要であることから事業の進捗率を指標とする。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを																			
とこら荘老人デイサービスセンター等空調設備改修事業	根拠法令			R4予算現額	R4決算額(見込み)						実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか													
	-			12,500千円	5,000千円												R4目標	R4実績											
	事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合														R4目標値が未達成の理由・分析										R4実績
	とこら荘老人デイサービスセンター(併設の老人憩の家とこら荘のホームを含む。)の空調設備が故障したことから、サービスに支障を来すことがないよう改修工事を実施するものである。			0.00人	0人																								
期間	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合	R5目標						R5実績																		
R4 ~ R5	0.10人			0人	20.0%						20.0%	目標達成済み	高齢者が安心して施設を利用できるように、空調設備改修事業費を速やかに予算化し、工事に着手したため。	施設の利用制限を最小限に留め、工事期間中における利用者への安全に十分配慮し、速やかに工事を完了をする。	利用者が健康・安全に過ごすための施設環境の整備に貢献。														
	800千円			0人	100.0%																								
754	営繕課			実施計画ランク	事業の種類別						R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを										
		重要	自治事務	0千円	0千円															予防保全計画に基づく工事予定件数 予防保全計画に基づく工事実施件数	予防保全計画に基づく工事実施件数	対象施設の築年数や修繕後の経過年数及び老朽度、市の財政状況を勘案し、関係各課と協議を行い、目標を設定する。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
		公共施設長寿命化計画に基づく予防保全計画推進事業	根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み															どのように貢献したか				
			建築基準法	0千円	0千円																					R4目標	R4実績		
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合																							R4目標値が未達成の理由・分析	R4実績
			建築物については、建築後30年を経過すると急激に劣化が進行するとされており、所沢市の公共建築物においても築後30年を経過するものが増加していくことを踏まえ、建築物の劣化が進行する前の予防保全に取り組むため平成18年度に「所沢市公共建築物修繕計画」を策定し、その後令和3年度には「所沢市公共施設長寿命化計画」に内容を継承し「予防保全計画」として統合された。この予防保全計画により、建築物の修繕を計画的に進行管理し、単年度に修繕工事が集中する事態を避けて財政負担を平準化するとともに、既存建築物の延命化を図り有効活用していく。	3.00人	0人																								
		期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績																							
		H18 ~	2.65人	0人	12件	12件	目標達成済み	成果指標の目標値を達成した。	対象施設の老朽度による工事の優先順位や市の財政状況を勘案してR4年度目標の工事予定件数を見直した。	所沢市公共施設長寿命化計画に統合されたことで、施設の統廃合や長寿命化改修(大規模改修)の予定も勘案した計画策定が必要となっていく。このため、これまで以上に経営企画課や施設所管課との協議、連絡を密に取っていく。															公共建築物の修繕を財政負担の平準化を図りながら計画的に進めた。				
			21,205千円	0人	14件																								